



ええJAん!

あ*のみち



駅前であけぎをPR わけぎ街頭宣伝開催 → 6ページ



耕そう、大地と地域の未来。

JA尾道市は持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向け取り組みます。

営農情報

詳しくはお近くの下記事業所までお問い合わせください。

東尾道営農センター ☎0848-56-1231	浦崎支店 ☎0848-73-3311
尾道北営農センター ☎0848-29-9611	御調支店 ☎0848-76-2242
向島営農センター ☎0848-44-2106	甲山支店 ☎0847-25-5035
因島営農センター ☎0845-25-6161	世羅西支店 ☎0847-37-7100
世羅営農センター ☎0847-25-5029	東生口出張所 ☎0845-28-0211

水稲

今年の田植えも間近となりました。健苗育成・適期移植と田植え前後の初期管理は、活着促進・初期成育の確保につながる重要な作業となります。天候や圃場条件に対応した的確な管理に努めましょう。

【代掻ぎ】

代掻ぎは、田んぼの表面を柔らかく均平にして田植えをしやすくするとともに、作土の表面にある稲株・ワラ・雑草などを埋め込む、水持ちをよくし除草剤の効果を高めるなど、いろいろな役割を

担っています。

畔からの漏水が気になる圃場では、代掻き前（入水前）に圃場の外周をトラクターで踏み固めてやりましょう。

代掻き作業の水深は、耕運した土壌が少し見える3〜5cm程度とし、均平に重点を置いて、練りすぎないようにしましょう。代掻きを過度に行くと通気性や透水性を損なって、根腐れなどの弊害を起し、生育不良に繋がりますので注意しましょう。

【移植】

◆箱処理剤

箱処理剤殺虫殺菌剤は、落ちていて作業ができる田植え前日（剤）によってはもっと前に施用可能）に行いましょう。また、毎年、箱処理剤と除草剤の1kg粒剤を間違えて使用する事故が何例か発生しています。除草剤が散布された箱苗は生育が見込めなくなりしますので、間違えないよう再度確認しましょう。

◆イオウ欠乏対策

近年、初期生育停滞の原因の1つとして、イオウ欠乏の発生があることが明らかになってきました。イオウ欠乏になると下葉から黄化し、酷い時には分げつが止まります。その後、生育の後半で窒素を吸収し、草丈が長くなり、倒伏の危険性が高まります。

対策の1つとして、田植え前日に「ダー

ウィン2000」または、「畑のカルシウム」を苗箱1箱当たり250g播いて、田植えをすることでイオウ欠乏症が軽減できます。

◆植付

①代掻き後、土が落ちてから移植します。代掻き後に初期除草剤を使用した場合は、散布から田植まで7日間空ける必要があります。

②植付け本数は1株あたり3〜5本としましょう。欠株を心配してそれ以上の本数で移植した場合、分げつ過剰となり、下葉枯れや倒伏のリスクが高まるので注意が必要です。

③欠株がひどいときには補植しますが、10株中に1株飛んでいたり、1株に1〜2本しか植わっていないなくても、全体の収量には影響しません。

④補植後の置き苗はいもち病の発生源となるので、速やかに圃場外へ出しましょう。

⑤植付け深度は、浮き苗防止や除草剤の薬害防止のため、3〜4cm程度で移植しましょう。

⑥株はりの良い品種、圃場環境では、圃場全体の風通しを良くするため、植付け間隔を広めにとりましょう。

⑦田植後の水管理

活着するまでやや深水で管理します。苗の水没には十分注意してください。

い。深水管理は、保温効果や風による蒸散から苗を守り活着を早めます。

【除草剤】

水持ちの悪い圃場は、初期剤と中期剤、場合によっては後期剤を使用する体系防除を実施してください。

田植えをした圃場で、活着の悪い圃場や植え傷みをした圃場では、除草剤の散布時期をずらし、苗の回復を待ってから作業してください。

◆注意事項

農業登録内容の厳守はもちろんのこと、効果の安定・環境への影響軽減のために、農薬散布後は、必ず7日間止水しましょう。

柑橘

昨年度はハナムグリの被害が多く見られました。適期防除を心がけましょう。

【剪定】

労力的に作業実施が困難な方も、強い返り枝をノコで間引くだけで、薬剤がかりやすくなり、薬剤費の軽減と正品率向上を図ることができます。

八朔などで花母

枝（団子花がついた枝）は切除しま



▲花母枝は枝の付け根から切除する

しよう。

【防除】

品種ごとに花の咲く時期が異なります。いしじやネーブルは開花が早く、清見やはるかには開花が遅い品種です。適期防除を心掛けましょう。

◆ケムシの防除

ケムシが大量発生すると新芽や花を食害され、収量が著しく減少します。多発の場合は早めに防除しましょう。また、ケムシの発生源である園地周辺のアカメガシワは伐採しましょう。

◆コアオハナムグリ

花粉を求めて飛来し、花に潜り込み、爪で子房を傷つけます。晴天の日、気温の高い日に飛来が多く、花粉量の多い品種を好むので八朔、ブンタンなどは注意が必要です。

花上には午前8時頃から増え始め、10時から12時が最高となります。午後3時を過ぎると急に少なくなります。(花粉の多い品種は、夜間も樹上に留まる場合があります。)

そのため防除の時間帯は、午前10時頃が適期となり夕方方は適しません。



▲ハナムグリ被害果 (爪でひっかいたような傷が特徴)



▲コアオハナムグリ

◆ヒラタケシキスイ

花の蜜を求めて飛来します。ハナムグリと異なり終日花に寄生しています。爪で子房を傷つけます。

◆アザミウマ類

アザミウマ類も訪花害虫に含まれますが、花の時期以外にも果実に加害します。チャノキイロアザミウマの発生源は、マキなどの防風樹です。被害の深刻な園地は、マキを伐採し防風ネットを整備しましょう。

また、従来の薬剤が効きにくいミカンキイロアザミウマの被害も増えていますので注意してください。



▲アザミウマ被害

◆灰色カビ病

果実上に残った花びらにカビが生えて、果実に傷がつく病気です。本年度のみかんは、豊作樹が多いので注意が必要です。安政柑も被害の出やすい品種です。防除とあわせ、花びらを落としてやると被害が軽減できます。

◆かいよう病の防除

かいよう病を防ぐには、発芽前防除と展葉期の防除が重要になります。多発園

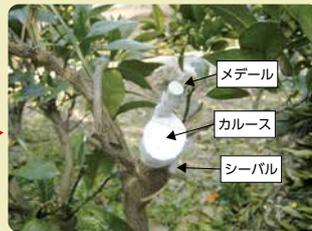
では5月下旬にも薬剤を散布しましょう。

【品種更新】

更新する際は、適地適作と労力を考えながら更新しましょう。(※しらぬひの高接樹は酸高が問題となるので推進していません。更新の際は苗木を植えましょう)

◆接木

接木更新は、結果するのが早いという



接木の仕方

①中央の充実した芽を2~3芽つけて穂木を切る。基部から3cmの位置をそぎ、反対側は30~40度に1cm切り落とす

②幅を穂木の形成層の幅に合わせて台木に3cm切り込みを入れる。形成層どうしが一部で合わさるように穂木を台木の切り込みに差し込む

③接ぎ木用ビニールテープで接ぎ木部を固定し、メデールで穂木を覆う

正しい接木部位

腹接ぎ (上側) (下側)

樹皮の厚い部分

切接

接ぎ木の手順

メデール

カールス

シーバル

利点と経済寿命が短いという欠点があります。

◎穂木の管理

剪定時(発芽前)に採穂し、葉柄を落とし黒ポリに包んで冷暗所で保管します。本年度は寒波被害を受けている場合があるので、暖かい園地で穂木を採取しましょう。



▲穂木 写真は2芽で削っているが穂木が多くある場合は3芽で削ると必ず外芽が取れるので台木にさすとき穂木を選ぶ必要がなくなります。腹接ぎ用は上芽で1芽の穂木を使用します。

◎接木方法

・腹接ぎ

枝を余り切らずに主に横枝に接ぐ方法です。樹勢が弱りにくい利点がありますが、誘引を怠ると樹形が乱れやすいので注意が必要です。

・切り接ぎ

切り接ぎは主枝を切り詰め接ぐ方法です。そぎ接ぎと剥ぎ接ぎがあります。そぎ接ぎは技術が必要ですので剥ぎ接ぎをお勧めします。4月下旬ごろから皮が綺麗に剥けますので、剥ぎ接ぎが可能となります。

5月上旬を過ぎると活着が悪くなるので注意してください。

【花肥料の施用】

4月下旬から5月上旬にかけ、花の多い園地では硫酸を10アールあたり20kg施用しましょう。

【温州ミカンの摘蕾】

本年度の温州ミカンは、豊作の樹が多いと予想されます。豊作樹は摘蕾を実施し、隔年結果防止に努めましょう。

【苗木の管理】

植え付け1カ月後から肥料を施用します。フルーツ元気866の場合は、1本の樹に一握り程度を毎月10月まで施用します。苗木用1発肥料のエコロング413の140日タイプは、1本あたり140gを1回施用します。新梢が伸びている間は、アブラムシやミカンハモグリガ防除時に元氣一番とケルパックを混用散布しましょう。

落葉果樹

【共通の管理】

急激な温度上昇により生育が早まっています。管理作業の遅れが出ないようにご注意ください。

◆果実の肥大期(細胞肥大期)

多くの落葉果樹が果実肥大期にあたります。開花から約40日間は果実の細胞数が増える期間です。

貯蔵養分を無駄にしないためにも、房作りや摘粒(ぶどう)・摘果(桃・柿・梨)など着果量の調整は早めに行いましょう。これが高品質生産のポイントになります。

ぶどう

【新梢伸長期〜ジベ処理期〜開花期】

◆誘引

新梢の先端を下げることによって、果房に流れる養分の量を増やし果粒肥大を促進させる効果があります。生育の早い新梢から順に誘引しましょう。

◆敷ワラ

早く敷くと、地温が上がらず、ほう芽が遅れ、霜害を受けやすくなるので、霜の心配がなくなってから敷いてください。

◆ジベレリン処理

展葉始めからの日数・展葉枚数等を参考に、花穂の進み具合をみながら処理をしていきます。特に、ジベ処理前後一週間の気象条件(温度・日照)が花穂の進みや実止まりに大きく影響しますので、注意して作業してください。

◆房づくり

果実肥大促進のため、早めに摘粒を行い、1房当たりの着粒数を適正になるようにしてください。

もも

【摘果】

満開後40日頃から本摘果を行います。

・葉数による摘果の目安

- 早生…1果あたり40枚
- 中生…1果あたり50枚
- 晩生…1果あたり60枚

・枝による摘果の目安

- 短果枝…5本に1果
- 中果枝…1本に1果
- 長果枝…1本に2果

※急激な摘果は、生理落果(核割れ)の原因となるので注意してください。

摘果した果実は病気の原因となるため、園外へ持ち出してください。

乾燥が続く場合は、灌水を行いましょ。

【注意する病害虫】

アブラムシ類、モモチヨッキリゾウムシ、ケムシ類、カイガラムシ類、せん孔細菌病、灰星病、黒星病、うどんこ病、果実赤点病



▲モモチヨッキリゾウムの被害果

なし

【灌水】

開花から45日間は細胞分裂期にあたります。この期間の乾燥は小玉果の原因になりますので、乾燥させないように灌水をしっかりと行ってください。

【摘果】

果実肥大を目的として、変形果・病害虫被害果などを中心に摘果します。一度に終わらせようとせず、開花後数回に分けて行ってください。

いちじく

新梢伸長期に入ります。

◆芽かき

いちじくは、すぐに樹冠内部が過繁茂になり、日照不足になってしまいます。熟期の遅れや着色遅れを引き起こすので、定期的な園内を回り、残す枝は1m当たり4〜5本程度を目安に実施しましょう。

◆ねん枝・誘引

若木など樹勢が強い樹では、新梢が立ち気味になるため、樹形を整えるためにもねん枝・誘引を行います。

また、主枝・亜主枝が直接日射を受けると、枝・幹の日焼けを引き起こすため、影になるよう誘引ヒモなどを使って誘引しましょう。

家庭菜園

◆灌水

土壌の乾燥は生育不良の原因となりま
すので、乾燥が続く場合は灌水を行いま
しょう。

◆注意する病害虫

そうか病、ネコブセンチュウ、アイノ
キクイムシ、ケムシ類

4月に入り気温も上がってきたこと
と思います。夏野菜の定植が4月の下旬頃
から可能になります。タイミンズを逃さ
ないように作業を行いましょう。

【定植に向けた準備】

畑の準備が終わっていない方は、大急ぎ
で行いましょう。作業内容については、
先月号を参考にしてください。実を収穫
する野菜は、元肥を入れ過ぎないのがポ
イントです。

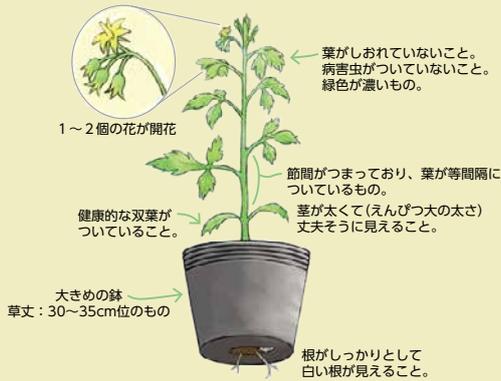
また、必要に応じて定植の1週間前ま
でにマルチをしましょう。

【苗の選び方】

野菜は、苗半作と言われるくらい苗の
品質に結果が左右されます。良い苗を選
ぶには、いくつかのポイントがあります。
例えば、花が沢山咲いたものは、定植
時期を過ぎた老化苗となっており、植え
ても生育が劣り、収量も上がりません。

逆に小さく未熟な苗を植えてしまうと、
莖葉ばかりが大きくなり、実が付かない
といったことが起こります。

苗の選び方



1. 茎が太く、しっかりし全体ががっちりしていること。(軟弱に成長していないこと)
2. 節間がつまっているもの。
3. 根の張りが良いもので、鉢ができるだけ大きいもの。
4. 病害虫に侵されていないもの。(特に葉の裏側のアブラ虫に注意)
5. 古い苗(老化苗)でないもの。特に下の葉が黄色くなっているものは避けましょう。
6. 葉が元気で等間隔についており、子葉がついているもの。
7. 莖や葉がしおれていないもの。

株間の目安

トマト	35～45cm
ナス	55～65cm
ピーマン	55～60cm
キュウリ	40～50cm
オクラ	20～35cm
エダマメ	20～30cm 条間60cm(2条植え)
トウモロコシ	28～30cm
カボチャ	1.2～1.4m
スイカ	1.2～1.4m

後述の図も参考にして、植付け適期の
苗を選ぶようにしましょう。

トマトやナスは、一番花が咲き始めた
頃が植付けの適期です。キュウリやカボ
チャなどのウリ科野菜は、本葉が3枚ほ
ど展開したら適期となります。

苗には接木苗と実生苗がありますが、
家庭菜園では接木のおススメです。
値段は高いですが、病気に耐性があるの
で作りやく失敗のリスクを減らせます。

苗の生育具合によっては、早めに植え
る必要も出てきます。低温が心配な時は
肥料袋などで苗を囲んだり、寒冷紗をか
けるなどして保温してやりましょう。

【苗の植え方】

根鉢よりやや大きめの植え穴を掘り、
そこにたっぷり水をやりまます。根鉢が崩
れないよう丁寧に苗を置き、軽く覆土を
します。接木苗の場合、接合部が必ず土
の上に出るようにしてください。植付け
後にも軽く灌水をしてやりまます。

その後は、しっかりと活着するまで1週
間程度は乾燥しないように水管理をしま
しょう。過湿になると弱ってしまつので、
やり過ぎないように注意してください。

トウモロコシを植える場合は、結実を
促すために最低でも苗を10本用意し、半
分ずつ2列の畝に並べて植えるようにし
まます。

【タマネギの収穫】

4月下旬～6月中旬にかけて、早生の
品種から順番に収穫期を迎えます。畑を
見渡して6割ほどの株が倒れた頃が収穫
適期です。晴天が続いた日の午前中に収
穫を行い、半日ほど畑に並べて水分を飛
ばしてやりましょう。

早生の品種は水分含量が多く、貯蔵に
は向かないので早めに消費し、晩生の品
種は軒下に吊るすなどして保存します。

【ジャガイモの芽かき】

3月に定植したジャガイモから芽が伸
びてきていると思います。芽の数が多い
ほどイモの数は増えますが、養分が分散
してしまい小さなイモになってしまいます。
イモの数と大きさのバランスを考えると、
1株当たり3本程度の芽を残すのが
適切です。元気のよい芽を残すようにし
て数を調整してやりましょう。芽を引き
抜く際は、種イモが持ち上がらないよう
株元を掌で押さえ、捻りながら引き抜く
とよいでしょう。

尾道の柑橘が集結 尾道柑橘博覧会—2025—開催



多くの人で賑わう即売会

尾道市山波町の柑橘農家で構成する山波フルーツ友の会は3月1日(土)、JA尾道市東尾道営農センター店舗前で尾道柑橘博覧会—2025—を開催しました。

今年は31種類の柑橘それぞれの特徴を実物の果実の展示とパネルで紹介しました。

さらに即売会も行われ、展示している柑橘の中から20種類が特価で販売され、柑橘を求める多くの来場者で賑わいました。

がんこちゃん



取材日記

地域で開催されたイベントやSDGsを含めたさまざまな話題をご紹介します！

駅前でわけぎをPR わけぎ街頭宣伝開催



わけぎの食べ方をPRする協議会のみなさん

おのみちスローフードまちづくり推進協議会とわけぎ部会は3月1日(土)、尾道駅前ではわけぎ街頭宣伝を行いました。

イベントでは、わけぎ料理の実演を行い、わけぎチヂミとわけぎバターしょうゆ炒めを作り、通行人などが足を止め試食していました。

さらに、わけぎに関するアンケート調査も実施され、回答者にはレシピとわけぎの小袋も配布されました。

令和6年度JA尾道市桃部会出荷反省会を開催



開会の挨拶をする山田部会長

桃部会は3月6日(木)、東尾道経済事業本部で令和6年度JA尾道市桃部会出荷反省会を開催しました。

反省会では、営農指導員が今年度産の生育経過や販売実績、課題について説明を行い、生産者、市場関係者、JA役職員など約35人が出席し、次年度に向けて活発な意見が交わされました。



JA

「ええじゃん尾道」出荷会員向け春まき野菜講習会を開催



春まき野菜について講習する営農指導員

産直センターは3月6日(木)、「ええじゃん尾道」出荷協議会会員向けに春まき野菜講習会を開催しました。

講習会では、営農指導員が講師として、春に播種する野菜の土づくりから育て方まで、実り豊かな収穫につながるためのノウハウを詳しく説明しました。

同講習会は2会場で行われ、出荷会員約75人が参加しました。



地域

「2024尾道おやつコンテスト」尾道スローフード協議会が開催



審査を行う眞田専務

尾道スローフードまちづくり推進協議会は2月19日(水)に「2024尾道おやつコンテスト」を開催し、眞田達也専務が出席しました。

今年は「ウェルビーイングなシェアできるおやつ」をテーマに募集し、市内外の9業者から14作品の応募がありました。審査方法は野菜ソムリエなどの食のプロ8名の審査員が各自で試食・審査し、5項目・10段階で評価を行い各賞が決定されました。

グランプリには福山市のLOVEゲリータが出品した「尾道おこのピザ」が選ばれました。

理事会 だより

開催日
令和7年3月27日(木)

審議事項

- 第1号議案 令和7年度会計監査人監査にかかる監査報酬について
- 第2号議案 第8次中期経営計画(案)の策定について
- 第3号議案 第7次営農振興計画(案)について
- 第4号議案 令和7年度事業計画(案)について
- 第5号議案 令和7年度内部監査計画(案)について
- 第6号議案 令和7年度余裕金運用基本方針(案)について
- 第7号議案 令和7年度法令等遵守の実践計画(案)について
- 第8号議案 株式会社ジュンテンドーとの業務提携について
- 第9号議案 カスタマーハラスメントへの対応について
- 第10号議案 経営管理規程の一部改正について
- 第11号議案 組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針(案)の一部改正および公表について
- 第12号議案 「福祉正職員」就業規則の一部改正について
- 第13号議案 組合員の出資口数の減少について
- 第14号議案 年度末賞与の支給について

※理事会議事録は、各支店・出張所に備え置きしております。

あなたらしく**過**ごすために

ACP

アドバンス・ケア・プランニング
Advance Care Planning

これからの治療・ケアについての話し合い

アドバンス・ケア・プランニング(ACP)とは?

もしもの時に備えて、受たい医療やケアについて、あなたの希望や想いを、家族や大切な人、かかりつけ医をはじめとした医療者とともに話し合っておくことです。最期の時まで、自分らしく穏やかに生きるために、もしもの時のことを考えてみませんか。

大切なことは何ですか？



ふだん生活で一番大切にしていることは何ですか？

代理決定者は誰ですか？



私が大切にしていることをよく分かっている人は誰かしら…？

どんな治療を望みますか？



どんな治療をどこまで受たいですか？

どこで過ごしたいですか？



長年過ごした自宅で大切な思い出と？それとも病院で？

JA尾道総合病院では、アドバンス・ケア・プランニングを通じてがん患者さん・家族を支えます。あなたの想いや希望に添った最適の選択ができるよう、一緒に相談しながら考えていきましょう。



【お問合せ先】 がん相談支援センター（1階）
TEL：0848-22-8111（9：00～17：00 ※土日祝日は除く）